

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	31	事業名	県連合会事務局機構強化事業			戦略コード	4	戦略名	機能的・効率的な商工会		
担当部名	総務部	担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁	施策コード	16	施策名	変化に対応した組織機構の見直しと県連合会サポート機能強化		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景									
社会経済情勢の変化により小規模事業者の経営環境が厳しさを増す中で、事業者ニーズに対応し商工会の使命を果たすことが求められており、各商工会・県連合会が一体となった組織体制が必要となっている。									
2. 事業のねらい									
県連合会が果たすべき役割は、商工会の活動を全面的にサポートすることととらえ、根本的な組織課題への対応強化、商工会現場支援力・シンクタンク機能の強化、管理部門の効率化をねらいとする。									
3. これまでの評価結果	過年度	H29	A	H30	A	R1		R2	
平成29年度に商工会支援部を新設し、商工会への情報収集・提供をはじめ、人的なサポート等、商工会サポート機能として定着している。									
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応									
現状の組織体制の課題を検証し、必要に応じて各部門の機能・役割等の見直しを図っていく。									

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
72	県連合会事務局機構の見直し	事務局機構の見直し実施済み。	a	a	a	A
73	商工会支援部の相談件数	商工会支援部に新型コロナウイルス特別相談窓口や働き方改革推進サポートオフィスを設置し、相談対応した。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)																	
取組コード	73					取組コード						取組コード					
指標名	商工会支援部の相談件数					指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2R	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	800件	800件	800件	800件	800件	目標						目標					
実績	1,472件	2,284件	921件			実績						実績					
達成率	184%	286%	115%			達成率						達成率					
達成度	a	a	a			達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価
【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
〈評価の理由〉 商工会に対する支援力が強化され、県連合会のシンクタンクとしての位置づけが明確になった。また、商工会支援部の機能・役割が浸透し、各商工会の役員会や指導員会議等に出席し、組織課題の共有・解決につながっている。
【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
〈事業の目標は達成されているかどうか〉 商工会支援部による各商工会への巡回により、迅速な情報収集を行うことができた。事業に関する相談に絞って件数をカウントすることに改めたため、件数は少なくなっているものの、かかる時間及び内容は高度なものとなった。
【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉 商工会に対する窓口が商工会支援部に一本化されたことで、県連合会と商工会とのやり取りが効率的に行われるようになった。
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A
県連合会の新たな事務局体制が各商工会に浸透し、それぞれが機能を果たしている。
3. 課題
県連合会において、一つの事業が複数の課にまたがっているケースがあり、商工会に対して窓口をどのように整理していくかが課題となっている。
4. 今後の対応方針(改善点)
商工会サポート機能とシンクタンク機能をさらに強化するため、引き続きこれまでの取組を総点検し、改善を図る。